

## 第6回産業基盤部会 検討の視点(案)の細項目

平成20年6月27日提出  
産業基盤部会正副部長メモ

### **(インフラ) 地域内優位産業が農業関連業種であるとの認識を前提に、地域特性を生かした産業集積を促進するために必要な支援策のあり方**

- ・ 地域内優位産業をどう考えるか？
- ・ 農業関連業種は、どのような業種か？
- ・ 地域特性とは、どのようなものだと考えるか？
- ・ 産業集積が進んでいる業種とは、どのようなものか？
- ・ 産業集積を進めるべき業種とは、どのようなものがあるか？
- ・ 地場企業を業種ごとに集積していく場合、どのようなインセンティブが必要か？
- ・ 産業集積を促進するために必要な支援策は、どのようなものが考えられるか？

平成18年工業統計(帯広市分)によれば、食料品製造業の出荷額等は、全体の53.4%であり、第二位の飲料・たばこ・飼料製造業5.1%に比較して圧倒的である。地域の強みとして、食料品製造業(食関連産業)であると認識できるか？また、食料品製造業の関連業種としては、どのような業種が考えられるか？

チーズ、お菓子など、集積されつつある業種を生かして「意図的な産業集積の形成」を目指すには、どのような集積を目指すべきか？または、関連業種の集積の可能性をどのように考えるべきか？

同業種が集積することによる「相乗効果」には、どのようなものが考えられるか？また、逆に「マイナス効果」についてどのように考えるか？

意図的な産業集積を進める場合に、インセンティブになる地域特性には、どんなものが考えられるか？(高速道路など交通アクセス、苫小牧に次ぐ大規模工業団地、畜産大学等の試験研究機関など)

食料品製造業以外に、集積すべき業種は考えられないか？

産業集積・・・特定分野において相互に連結する企業群と関連機関群が地理的に集中している状態。

### **(インフラ) 地場企業の新增設に対する支援のあり方**

- ・ 地元企業の新增設の情報をどのように入手すべきか？
- ・ 地元企業が新增設する場合、何を判断材料としているか？
- ・ 地元企業の新增設のインセンティブになる支援策は、どのようなものか？
- ・ 現在の帯広市の企業立地補助金等の制度は、地元企業から見て使いやすいか？使いにくいとしたら、どのような点に課題があると考えられるか？
- ・ 地場企業の新增設の対象業種を限定すべきか？
- ・ 産業集積を誘導していくような支援に限定すべきか？

地場企業が新增設する場合、その情報を把握するにはどんな方法が有効か？また、

帯広市の支援策を有効にPRするために、どのような方法が有効か？

現在の帯広市の企業立地補助金等の制度を拡充する場合、地場企業が利用しやすくするには、金額や補助率の拡充をすべきか？また、税の軽減や低利融資の拡充は必要か？そのほかには、どのような点を改善すべきか？

産業集積を誘導するための支援策として、企業立地補助金制度に対象業種の限定を行う場合、食料品製造業だけに限定すべきか？

企業誘致についての都市間競争が激化する中、先進都市では企業立地補助金以外の支援策を実施してきている。地場企業が新增設するためのインセンティブになる支援策として、どのようなものが考えられるか？

### **(インフラ) 高速道路や高規格道路、空港や十勝港などの整備計画を踏まえて、地域全体として具体的な取り組みの進め方**

- ・ 北海道横断自動車道(スカイロード)が札幌まで開通する影響は、どのようなものが考えられるか？
- ・ 高規格道路が広尾まで開通する影響は、どのようなものが考えられるか？
- ・ 空港の機能、及び空港周辺の機能として、不足しているものはどのようなものが考えられるか？
- ・ 空港周辺に集積可能な業種として、どのようなものが考えられるか？
- ・ インターチェンジ周辺に集積可能な業種として、どのようなものが考えられるか？
- ・ 道路(特に高速道路)の完成を見込んで、地域全体としての取り組みはどのようなものが考えられるか？

北海道横断自動車道(スカイロード)の札幌までの全面開通後に利活用促進(市場拡大、集客の両面)を図るためには、どのような取り組みが必要だと考えるか？

北海道横断自動車道が札幌まで全面開通する影響として、ストロー現象など購買層の流出が考えられるが、逆に観光客などを呼び込むためには、どのような取り組みが必要だと考えるか？地域全体、産業界全体としての取り組みとして、どんな施策が考えられるか？(物流の共同化、道央圏等へのPR、物流コスト削減支援など)十勝港までの高規格道路の整備も進んでいる。十勝港は道内港湾中、首都圏まで最も近距離にあり水深も深いなどの優位性を持っている。十勝港とアクセス道路を生かす可能性について、どんなことが考えられるか？帯広・十勝の地場企業にとって、どのような利用が考えられるか？

とかち帯広空港と十勝港、高規格道路、北海道横断自動車道、工業団地などについて、産業集積の促進の視点から、どのような場所において立地優位性が考えられるか？

### **(共同利用) 大学等試験研究機関と連携して、帯広市や中小企業団体等が新たに産業支援機能を整備する場合、現在不足している機能について**

- ・ 産業支援機能としてどのようなものが不足していると考えられるか？
- ・ マーケティングの機能を充実する場合、どのようなことが考えられるか？
- ・ ブランディング、デザイン、技術経営(MOT)などに関する支援機能の必要性をどのように考えるか？

- ・現在のさまざまな支援機能（試験研究機関など）の機能は、十分が発揮されているか？
- ・発揮されていない機能があるとしたら、何が要因だと考えられるか？

さまざまな製造業等の立地に、取水・排水は大きな立地要因である。取水施設や排水施設の共同利用は、どんな形態が考えられるか？また、そのような施設を設置した場合、どのような施設なら企業立地（地元企業の移転を含む）のインセンティブになりうるか？

取水・排水施設以外に、ごみ処理施設等による暖房や熱供給システム、食品分析研究施設、雪氷エネルギーを利用した冷蔵施設などが考えられるが、企業立地（地元企業の移転を含む）のインセンティブになりうるか？また、その施設の利用形態・運営形態は、どのようなものが考えられるか？

ハードではなくソフト的な共同利用施設（あるいは産業基盤）として、食肉加工などの技術者養成の機能や、ブランディング、デザイン、技術経営（MOT）などに関する能力養成支援機能の必要性をどのように考えるか？また、その機能の運営形態は、どのようなものが望ましいか？

地域ハサップ制度の必要性について、どう考えるか？地域ブランド認証の取り組みや、原産地表示、原産地証明の取り組みとの関連性を、どう考えるか？

## **（エネルギー） 豊富なバイオマス資源などの地域特性を生かし、低コストで持続可能なエネルギーを、地域全体として研究開発を促進し、導入を推進する進め方**

企業のコストとしてのエネルギーは産業の基盤であり、地域全体として取り組むべき課題ではないか？

長期的に化石燃料に頼らないエネルギーとしては、どのようなものを選択し、導入を推進すべきか？

食料と競合するバイオ燃料は、帯広・十勝にふさわしくないのではないか？食用でないものや未利用の農産物などを利用したバイオ燃料の導入を促進すべきではないか？

地域特性を生かした自然エネルギー（風力、太陽光、雪氷エネルギーなど）の導入を促進すべきではないか？

（エネルギー） （産業集積）へ移行

・・・政府の政策途上の課題であり、技術開発や制度面でも課題が多い。しかし、帯広・十勝の地域特性を考えると豊富なバイオマス資源や太陽光、雪氷エネルギーなどの自然エネルギーは、重要なテーマである。従って、＜エネルギー＞ではなく産業集積のひとつとして扱うものとする。

## **(総合的) 地域内経済循環を実現するために、基幹産業の農業と2次3次産業の産業連関を意識した取り組みの進め方**

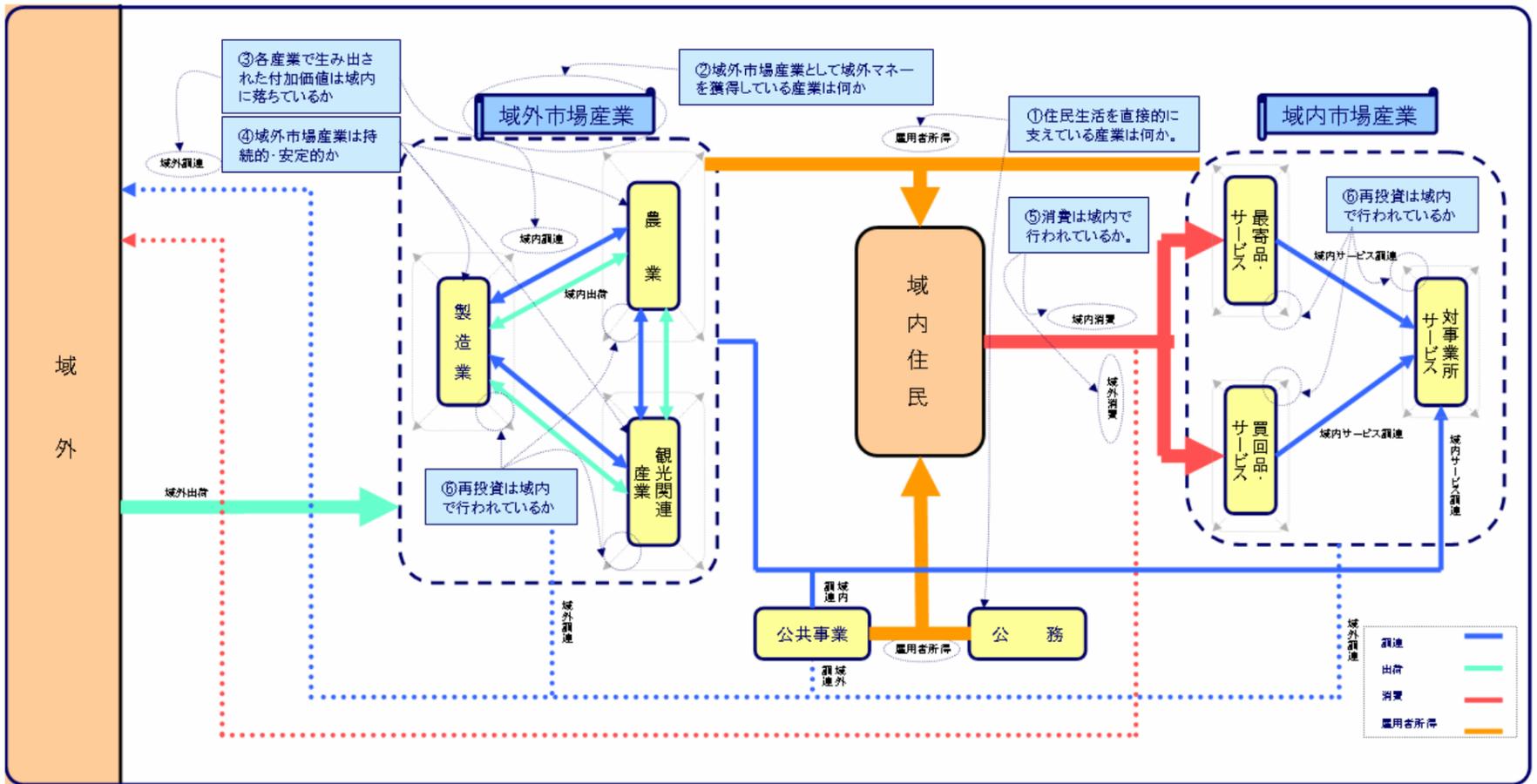
- ・ 産業間の連携が進まない要因は、どのようなことが考えられるか？
- ・ 農商工等の連携が進まない要因は、どのようなことが考えられるか？
- ・ 財団法人十勝圏振興機構(とかち財団)設立の趣旨は、農商工等連携による産業振興であるが、その趣旨を發揮できているか？
- ・ 企業と企業の間での連携が、なかなか進まない要因は、どのようなことが考えられるか？
- ・ 異業種交流グループが存在しているにもかかわらず連携が進まない要因は、どのようなことが考えられるか？
- ・ 地域内経済循環を生み出す活動として、どのようなことが考えられるか？

*地域内経済循環や産業間連携・企業間連携を進めるためには、原料や製造機械等の地元調達の高割合を高めることが重要な手段のひとつである。地元調達率を向上させるためには、どのような取り組みが必要だと考えるか？地域内調達等のネックは何か？*

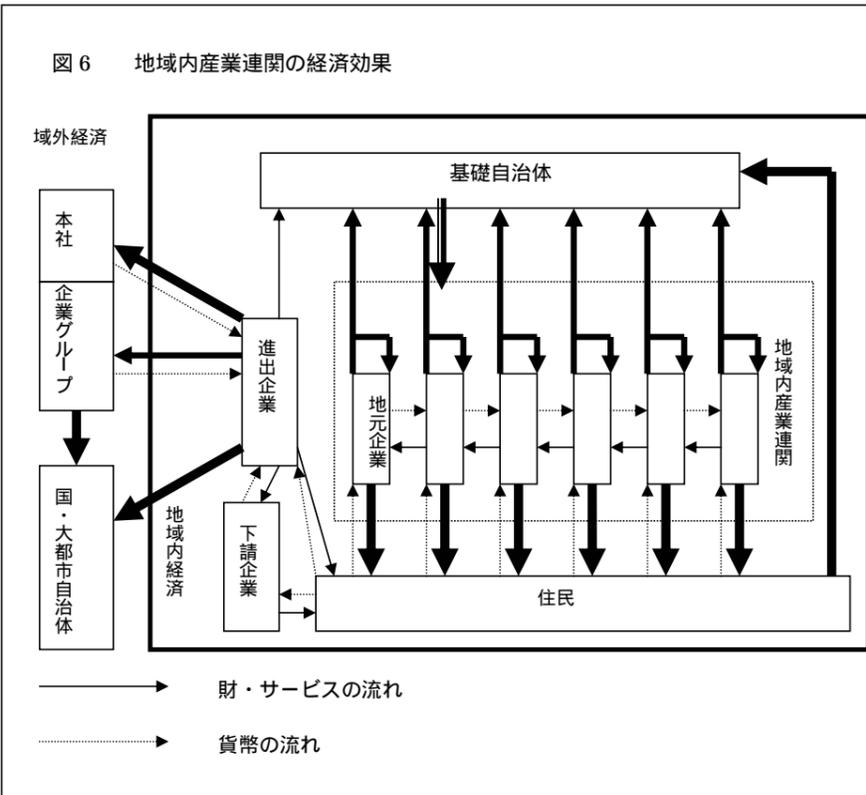
*地域内経済循環に貢献度が高い業種は、どのような業種だと考えられるか？付加価値率の高い業種は、地域内経済循環に貢献度が高いと認識できるか？地域外からの所得を地域内で循環させる手立てとして考えられるものとは、どのようなものか？農業と他の産業(工業、商業など)の連携が進まない要因として、どのようなことが考えられるか？大量生産、大量流通、農協系統流通などの課題を解決する手段として、どのような取り組みが考えられるか？*

地域内経済循環分析の必要性（地域内、地域間のヒト、モノ、カネ、情報の流動を把握・分析）

地域経済の活性化の必要性 域外市場型産業と域内市場型産業が地域経済の両輪  
域内調達・域内循環が地域経済への波及効果の鍵



※1 域外市場産業、域内市場産業は地域毎に異なるなど、上記は一例。  
※2 矢印の方向は、資金の流れ。



京都大学岡田教授講演会資料より

